

第26回三遠南信サミット in 東三河では、「三遠南信流域都市圏の創生～日本の県境連携先進モデル～」をテーマとし、全体会から分科会を通じ議論を行いました。このサミットのテーマは新ビジョンのテーマでもあります。新ビジョンでは、三遠南信地域の住民がこの地域の持続的発展と自立のために、この地域を創生するという考えのもと、2027年のリニア中央新幹線の開業や、それと併せた三遠南信自動車道の概ねの完成が期待される中、「大都市圏・世界と結ばれる広域連携都市圏の形成」「中部圏での中核的な都市圏の形成」「流域循環圏の形成」の3つの地域像を目指してまいります。

本日は、サミットに先立ち、SENAの役員会であるSENA委員会に有識者を加えた拡大委員会において、以下の5つの基本方針についてご了承をいただきました。

- 「道」…… 地域内外の人・物・情報の交流を一層進めることで、中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成を目指します。
- 「技」…… 地域内の産学官が連携し、既存産業の活力を増進させつつ、産業構造の転換を先取りすることで産業創造力を強化し、革新を取り込む産業創造圏の形成を目指します。
- 「風土」… 地域資源の新たな価値を見出し、保存・継承と活用・発信を行うことで、流域文化創造圏の形成を目指します。
- 「住」…… 地域全体の生活環境を向上させるとともにこの地域に適した居住スタイルを確立し、安全安心な広域生活圏の形成を目指します。
- 「人」…… 次世代を担う人材の育成や確保、多様な文化が共生する社会の形成を通じて、地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成を目指します。

さらに、ビジョン達成のため選択と集中により掲げられた7つの重点プロジェクトについてご了承いただき、サミットの全体会、分科会を通じ更なる議論を深め、この新ビジョンの下、それぞれの主体において事業を進めていくことといたしました。今後は、パブリックコメントを実施するなど、地域住民への浸透を図ってまいります。

ビジョンの計画期間である2030年までの12年間、三遠南信地域は大きな転換期を迎えます。SENAの構成団体の皆様はもとより、本日ご参加の関係団体、関係者の皆様とともに、連携活動による新たな価値の創出に向けて全力で取り組んでまいります。

これらの成果をここに集うすべての主体が共有し、第26回三遠南信サミット2018 in 東三河のサミット宣言といたします。

SENA構成自治体においては、地域に共通する課題の解決に向けて積極的に連携事業に取り組み、広域連合設置を見据えた地域連携のプラットフォームづくりに邁進してまいります。

平成30年10月29日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

三遠南信サミット2018 in 東三河